

発刊にあたって

国有林野は、その多くは地形の急峻な奥地の山々や河川の源流域などに位置し、民有林に比べて原始的な天然林が広く分布し、野生動植物の生息地や生育地として重要な役割を果たしているとともに、特に優れた自然環境を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ林等に適した森林は、国民の保健及び休養に広く利用されることを目的として、「レクリエーションの森」に設定しているところです。

中部森林管理局の管理する国有林野は「日本の屋根」といわれる日本アルプスの山岳地帯など脊梁山脈にまとまって分布しており、自然探勝、ハイキング、キャンプ、温泉浴等の利用に適した自然休養林や風致探勝林など、133箇所、37,400ヘクタールの「レクリエーションの森」が設定され、多くの登山者や自然愛好者等の活動のフィールドとして利用されています。

これらの「レクリエーションの森」は、ホームページや数々の冊子類により情報発信されていますが、深山奥山のイメージの強い国有林野は、一般の方々がこれらの森林を利用することについて、なじみが薄いところでもあります。

この散策マップは、誰でも広く一般の方々が自然散策していただくことを目的として、比較的軽装で気軽に散策できる国有林野を洗い出し、散策路をマップ化し中部森林管理局ホームページにアップしたものです。

選定にあたっては、

- I 里山の国有林に存置するレクリエーションの森
- II 温泉や観光地の近場にある国有林内の散策路
- III 近場の国有林に存する景勝地、ビューポイント
- IV 国有林内に存する史跡・古道(街道、石碑、道標)

をコンセプトにしており、基本的に登山道など山岳コースは除外しています。

本マップは、遊歩道の管理などそれぞれ条件整備の整った箇所から随時追加更新を図ることとし、国有林付近に所在する温泉地等へ療養や観光を目的として訪れる国民の皆様に、気軽に自然とふれあう場の情報を提供し、その利用の促進を通じて山村地域の振興に寄与できればと考えています。

平成25年12月

中部森林管理局長